

食堂かたつむり

著 小川糸
ポプラ社

～料理の力～

ショックで声を失った女の人が作った料理で、食べた人に幸せが起きるといふ、あったらいいなという物語です。おいしそうな食べ物、料理がたくさん出てきて読むだけでつついとお腹がすいてきます。また、自然にあふれているので、この食材はこのように実っているんだ！と新しいことも知ることができました。飼っているフタを食べているところを読んで、「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつを大切にしていきたいと心がけられるような本です。

倉敷市立南中学校 2年

人斬り半次郎 幕末編

著 池波正太郎
新潮社

～向上心～

薩摩藩（鹿児島県）に生まれ、幕末四大斬りの一人に数えられた、中村半次郎（のちの桐野利秋）の一生を描いた歴史小説です。主人公の半次郎は、郷土という低い身分の上、更に父が罪人だったので、差別されていました。そんな半次郎が、薩摩藩主島津久光の行動に同行し、日本で最初の陸軍少将になりました。それは、諦めなかったことで、刀がよく使えたからです。絶対に強くなろうという半次郎の向上心が伝わります。

倉敷市立連島中学校 2年

ソードアート・オンライン1

アインクラッド
著 川原礫
イラストレーター abec
株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス
電撃文庫

～きっかけになった本～

この本は、ほくに本の楽しさを教えてくれた本です。いままで自分は、本を読むことを面倒くさがっていましたが、この本に出会って、本を読むことが楽しくなりました。そして、次第に他の本へと手を伸ばすきっかけになった本でもあります。本がきれいな人、もちろん本が好きだという人も、ぜひ手にとって読んでみてください。

井原市立井原中学校 1年

11 びきのねこ ふくろのなか

著 馬場のぼる
こぐま社

～見ていて楽しい～

私は読書が大嫌いです。文字は小さいし、絵が全然なくて文字ばかりであきます。けれど絵本だったら、絵がみられて、字も少しは少ないので読みやすいです。

この話は、11 びきのねこがふくろの中にとじこめられたけれど、11 びきみんなどで力をあわせて脱出した、というお話です。11 びきのねこは、どれももしろい作品なので、すごく見ていて楽しいです。11 びきのねこの表情が、とても好きです。

岡山市立西大寺中学校 2年

ハチ公物語

待ちつづけた犬
作 岩貞みこ
絵 真斗
写真 田丸瑞穂
講談社

～愛することのすばらしさ～

この本は、私の祖母から小さい頃にプレゼントされて何年も読んでいる、大好きな本です。物語は、ハチが死んでしまう時に飼い主だった、小林サダオ君という子どもの視点から書かれているため、気持ちが一緒だったり泣けたりします。もう一つのおススメは、ハチとご主人様との別れです。戦争のためハチは、はなればなれになってしまいます。ハチの周りの人におこる、さまざまな出来事を家族や友達とぜひ見てみてください。

県立岡山大安寺中等教育学校 1年

神秘の島 第1部

作 ジュール・ヴェルヌ
訳 大友徳明
偕成社

～人類の進んできた道～

この本を最初に読んだ時、「すごい」と思いました。あまり有名ではないですが、ほくが今まで読んだ中で一番おもしろい話です。

人類が歩んできた、科学の進歩をこの小さな島の中で歩いていきます。少し長いので読みにくいかもかもしれませんが、最初だけで、それからは慣れてどんどん引き込まれていきます。ジュール・ベルヌは、『海底二万里』や『二年間のバカンス』（『十五少年漂流記』）などを書いたすごい作者です。

県立岡山大安寺中等教育学校 1年

なぜポランチはムダなパスを出すのか？

1本のパスからサッカーの3手先が見えてくる

著 北健一郎
ガイドワークス

～次の試合が楽しみに～

この本は、サッカーのポランチというポジションを詳しく説明した本です。初心者の人はわかりにくいかもしれませんが、サッカーをしていて、特にポランチをしている人にとってもおススメです。僕はプレーがうまくいかないときにこの本を読んで、次の試合が楽しみになり、前向きになりました。今、サッカーでなやんでいる人も、一回読んでみてください。

岡山市立西大寺中学校 2年

勝負強さ

著 井端弘和
角川書店

～チャンスに強い理由がある～

井端弘和の心の強さや、ここぞというときの勝負強さなどの秘けつが、わかったりして、野球をやっている人などは、思わず「すごいなあ」と言葉に出てしまうくらい、とてもいい本です。たとえケガをしようと、プラス思考に考えて、すぐに切り替えて、はいあがってくる野球への思いが、すごく伝わってくる本なので、ぜひ、みなさんも読んでみてください。

倉敷市立多津美中学校 1年

ガールズ・ブルー

著 あさのあつこ
文藝春秋

～友情～

登場人物同士の会話がすごくおもしろくて、朝読書の静かな時に、思わず吹き出してしまうようになりました。それくらいおもしろいので、ぜひぜひ読んでみてください。

岡山市立灘崎中学校 3年

燃えよ剣 上巻

著 司馬遼太郎
新潮社

～生と死～

司馬遼太郎の代表作であり、新撰組「鬼の副長」といわれる土方歳三を主人公とした作品です。死んだと思っていた宿敵と戦い、相手を殺すも、自分も生死の境をさまよう。自分の人生を新撰組に捧げ、剣に生き剣に死んだといわれる彼の生き方は素晴らしいです。

県立大安寺中等教育学校 3年

100回泣くこと

著 中村航
小学館

～愛～

とてもたくさんの愛に溢れた物語です。人と人との恋愛、家族どうしの家族愛、人間と動物との絆愛が、美しく描かれています。生物が生きていく上で、愛の存在がとてつもなく大きなものであることを実感できるはずです。また、愛と同時に、生命についても考えさせられる深い物語だと思います。生物にとって生命とは何なのか、自分なりの答えを見つけられるかもしれません。作者の豊かな情景描写などに触れ、物語の世界に引き込まれてみるのも良いですね。

県立大安寺中等教育学校 3年

レンタル・チルドレン

著 山田悠介
幻冬舎

～親子愛～

この本を読むと、とても親子の愛を感じられます。どんなに姿や見た目が変わっても、自分の子は自分の子と思い、愛します。息子を病気で無くした親が、子どもをレンタルと売買している会社で、息子と瓜二つの子を見つけ買って生活していると、一ヶ月後から、急速に老化し始めます。親は、顔が溶けた息子と瓜二つの子の真相を、会社の研究所に忍び込んで求める、というストーリーです。この本は今、反抗期の人に読んでほしいです。親から子への愛情がわかります。

倉敷市立真備中学校 2年